被扶養者（異動）届の記入例（1/4） 記入例

様式そのものではありません。届は日本年金機構の様式（様式コード2202）に書くか、電子申請で出します。人名・会社名は架空です。

配偶者を扶養に入れる（入社と同時、第3号被保険者にも）

事業主	提出日	令和8年12月2日
事業主	事業所整理記号	01-ミホン
事業主	事業所名称	株式会社サンプル商事
事業主	事業主氏名	代表取締役　見本　太郎
事業主	事業主等受付年月日	令和8年12月2日
事業主	事業主確認欄	1（確認）に〇（所得税法上の控除対象配偶者であることを確認）
A 被保険者欄	被保険者整理番号	22
A 被保険者欄	氏名	見本　健
A 被保険者欄	生年月日	7-021111
A 被保険者欄	個人番号［基礎年金番号］	（本人の個人番号を用紙に直接書きます）
A 被保険者欄	取得年月日	9-081201（令和8年12月1日）
A 被保険者欄	収入（年収）	3,600,000円
B 配偶者である被扶養者欄	「該当」に〇	該当
B 配偶者である被扶養者欄	氏名	見本　恵（ミホン　メグミ）
B 配偶者である被扶養者欄	生年月日	7-040303
B 配偶者である被扶養者欄	続柄	2（妻）
B 配偶者である被扶養者欄	個人番号［基礎年金番号］	（配偶者の個人番号を用紙に直接書きます）
B 配偶者である被扶養者欄	同居・別居	1（同居）
B 配偶者である被扶養者欄	被扶養者（第3号被保険者）になった日	9-081201（資格取得日と同じ日）
B 配偶者である被扶養者欄	理由	1（配偶者の就職）
B 配偶者である被扶養者欄	職業	2（パート）
B 配偶者である被扶養者欄	収入（年収）	960,000円（今後1年の見込み）
B 配偶者である被扶養者欄	備考	「続柄確認済み」に✓（双方の個人番号を書き、戸籍謄本で確かめたとき）

入社と同時に配偶者を扶養に入れる例です。被扶養者になった日は資格取得日と同じ日です。配偶者は34歳で厚生年金保険に入っていないので、この届が国民年金第3号被保険者関係届も兼ねます。年収96万円は130万円未満で、被保険者の年収360万円の半分未満です。提出期限の目安は令和8年12月5日（土曜）なので、窓口なら12月4日までに出します。

被扶養者（異動）届の記入例（2/4） 記入例

様式そのものではありません。届は日本年金機構の様式（様式コード2202）に書くか、電子申請で出します。人名・会社名は架空です。

子が生まれた

事業主	提出日	令和8年11月24日
事業主	事業所整理記号	01-ミホン
事業主	事業所名称	株式会社サンプル商事
事業主	事業主氏名	代表取締役 見本 太郎
事業主	事業主等受付年月日	令和8年11月24日
事業主	事業主確認欄	1（確認）に〇
A 被保険者欄	被保険者整理番号	11
A 被保険者欄	氏名	見本 一郎
A 被保険者欄	生年月日	5-610525
A 被保険者欄	個人番号［基礎年金番号］	（本人の個人番号を用紙に直接書きます）
A 被保険者欄	取得年月日	7-280401（平成28年4月1日）
A 被保険者欄	収入（年収）	4,800,000円
C その他の被扶養者欄	「該当」に〇	該当
C その他の被扶養者欄	氏名	見本 陽向（ミホン ヒナタ）
C その他の被扶養者欄	生年月日	9-081120
C その他の被扶養者欄	性別	1（男）
C その他の被扶養者欄	続柄	1（実子・養子）
C その他の被扶養者欄	個人番号	（子の個人番号を用紙に直接書きます）
C その他の被扶養者欄	同居・別居	1（同居）
C その他の被扶養者欄	被扶養者になった日	9-081120（生まれた日）
C その他の被扶養者欄	職業	4（小・中学生以下）
C その他の被扶養者欄	収入（年収）	0円
C その他の被扶養者欄	理由	1（出生）

子が生まれたときの例です。被扶養者になった日は生まれた日で、提出期限の目安はその日を1日目として令和8年11月24日です。続柄は戸籍謄本などで確かめます。出生を機にした届は、被扶養者になった日が60日以上さかのぼっても、双方に日本の戸籍があり双方の個人番号を書けば、扶養の事実の書類は要りません。

被扶養者（異動）届の記入例（3/4） 記入例

様式そのものではありません。届は日本年金機構の様式（様式コード2202）に書くか、電子申請で出します。人名・会社名は架空です。

子が就職して扶養から外れる（非該当）

事業主	提出日	令和9年4月5日
事業主	事業所整理記号	01-ミホン
事業主	事業所名称	株式会社サンプル商事
事業主	事業主氏名	代表取締役 見本 太郎
事業主	事業主等受付年月日	令和9年4月5日
A 被保険者欄	被保険者整理番号	11
A 被保険者欄	氏名	見本 一郎
A 被保険者欄	生年月日	5-610525
A 被保険者欄	個人番号［基礎年金番号］	（本人の個人番号を用紙に直接書きます）
A 被保険者欄	取得年月日	7-280401（平成28年4月1日）
A 被保険者欄	収入（年収）	4,800,000円
C その他の被扶養者欄	「非該当」に○	非該当
C その他の被扶養者欄	氏名	見本 彩（ミホン アヤ）
C その他の被扶養者欄	生年月日	7-160505
C その他の被扶養者欄	続柄	1（実子・養子）
C その他の被扶養者欄	被扶養者でなくなった日	9-090401（就職した日）
C その他の被扶養者欄	理由	2（就職）
事業主	添付	交付されている資格確認書（回収できなければ資格確認書回収不能届）

子が就職して勤め先の健康保険に入ったときの例です。被扶養者でなくなった日は就職した日です（離婚は離婚した日、死亡は死亡日の翌日、後期高齢者医療に入ったときはその日）。外すときの届は「その都度」出し、「該当」と「非該当」は別の用紙に書きます。

被扶養者（異動）届の記入例（4/4） 記入例

様式そのものではありません。届は日本年金機構の様式（様式コード2202）に書くか、電子申請で出します。人名・会社名は架空です。

別居の親を扶養に入れる（仕送り）

事業主	提出日	令和8年12月3日
事業主	事業所整理記号	01-ミホン
事業主	事業所名称	株式会社サンプル商事
事業主	事業主氏名	代表取締役 見本 太郎
事業主	事業主等受付年月日	令和8年12月3日
事業主	事業主確認欄	（親は所得税法上の扶養親族でないので〇を付けない）
A 被保険者欄	被保険者整理番号	22
A 被保険者欄	氏名	見本 健
A 被保険者欄	生年月日	7-021111
A 被保険者欄	個人番号［基礎年金番号］	（本人の個人番号を用紙に直接書きます）
A 被保険者欄	取得年月日	9-081201（令和8年12月1日）
A 被保険者欄	収入（年収）	3,600,000円
C その他の被扶養者欄	「該当」に〇	該当
C その他の被扶養者欄	氏名	見本 正（ミホン タダシ）
C その他の被扶養者欄	生年月日	5-330808
C その他の被扶養者欄	性別	1（男）
C その他の被扶養者欄	続柄	3（父母・養父母）
C その他の被扶養者欄	個人番号	（父の個人番号を用紙に直接書きます）
C その他の被扶養者欄	同居・別居	2（別居）
C その他の被扶養者欄	住所	（別居なので父の住所を書きます）
C その他の被扶養者欄	被扶養者になった日	9-081201
C その他の被扶養者欄	職業	3（年金受給者）
C その他の被扶養者欄	収入（年収）	1,500,000円（年金）
C その他の被扶養者欄	理由	2（離職）
扶養に関する申立書	仕送り	仕送り 年12回、1回15万円

定年で仕事を辞めた68歳の父に仕送りする例です。60歳以上なので上限は180万円で、年金150万円は仕送りの年額180万円より少ないです。添付：続柄の書類（別居なので戸籍謄本など）、年金額の改定通知書の写しと退職証明書又は離職票の写し、仕送りの事実と額がわかる通帳の写しなど。